



- 立科小学校／午前9時～午前11時30分
電話 56-3131 (呼)・有線2190 (呼)
 - 立科中学校／午後2時～午後5時
電話 56-1076 (呼)・有線2251 (呼)
 - 立科町児童館／
午前 11時50分～午後1時40分
電話 56-0303(直通)・有線 8888 (直通)
- (担当 指導主事 中島一彦)

指導主事だより

教育委員会

なんだかうれしい

蓼秋祭(立科中学校文化祭)のリハーサル。校庭に一堂に会した生徒たち。

楽しみにしていた文化祭…楽しそうなおしゃべりが飛び交う校庭。

体育委員会として提案した企画は「尻尾取りゲーム」「障害物リレー」「全員リレー」。その企画を全校生徒に伝えていく…今日。

そんな中、校庭の端から端を全力疾走で何回も行きかう一人の生徒の姿が目にとまりました。体育委員長K君です。

全校の皆が楽しみにしているイベントの一つ一つを、放送で説明をする本部席の生徒たち。

○「一年生の皆さんは 競技位置に移動してください。」

○「その位置からスタートします」

○「次の人の位置は ここです」等々。

案内放送に合わせ、校庭の、その位置に全力で移動するK君。器具の設置場所、集合場所等に移動し、自身の動き通して、**全校生徒に分かりやすく伝えようと走り続けるK君**。アナウンスや全校の仲間の動きや反応に合わせながら、いやむしろ進行よりも少しでも早く、先を読みながら、行ったり来たり…のK君の全力疾走。広い校庭を行ったり来たり。

ぶり返した残暑の中で、滴る汗をぬぐいながら、K君の全力疾走が語るもの。

- 仲間の為に貢献したい ○文化祭を成功させたい ○みんなに存分に楽しんでもらいたい
- 自分も含め、出会った仲間たちと心に刻む瞬間を作り上げたい…そんな思いの数々。

～君の疾走に金メダル～
体育委員Y君と範を示す



中学校生活という暮らしの中に見え隠れする一人の生徒の奥行き豊かなさ。

K君という一人の中学生が、どんな生活をし、どんな喜びや悲しみを感じ、どんな中学校生活を創り、どんな価値観や人生観で、無意識ではあるけれど、歩もうとしているのか…。そんなことを考えたくになりました。

見えにくいからこそ、そのことを知り合うことが、人間の寛容さや優しさ、そして前向きさというものを生み出していくのではないか…そう思うのです。

K君の取組から見えてくるもの…。何かやらなくてはならない「重荷を背負うという責任」ではなく、

K君に任された大切な立場で、託されたK君にしか出来ないという立場での責任という事。

K君、君の行動が、立科中学校の仲間の充実を、先生方の充実を確かに支えているのです。

校庭を駆けぬける風の音と一緒に、出会った仲間たちを支えるさわやかな風が吹き抜けていきました。